

和歌山病院での実習を終えて



鈴木 琢也

今回、第三内科の実習の一環として和歌山病院で実習をさせていただきました。和歌山病院といえば和歌山県で唯一結核病棟を有する病院であり、一度結核病棟を見てみたいと思っていたので楽しみにしていました。結核病棟はもっと閉鎖的な空間だと思っていたのですが、実際に見学してみると二重扉と空気の流れが制御されている点以外は普通の病棟と変わりがなく想像と違っていました。また、見学以外に密度の濃いセミナーをして頂き、特に南方院長にして頂いた胸部 X 線画像についてのセミナーは教科書を読むだけではなかなか分かりづらい読影のための基本的な考え方を伝授していただき、これまでわかっているようでわかっていなかった X 線画像が今までよりも理解できるようになりました。これからの実習で X 線画像を見る機会は多いと思いますので今回教えていただいたことを生かしていきたいと思います。

今回の実習で特に印象に残っているのが、南方院長がおっしゃっていた「自分の決断を信じなさい」という言葉です。この言葉がこれから先の進路で迷っている自分の心に響きました。これから先、どのような道を選ぶにしても後悔せず突き進んでいきたいと思いません。

最後になりましたが今回の実習を準備してくださった和歌山病院の皆様、本当にありがとうございました。